

令和6年度
事業計画書

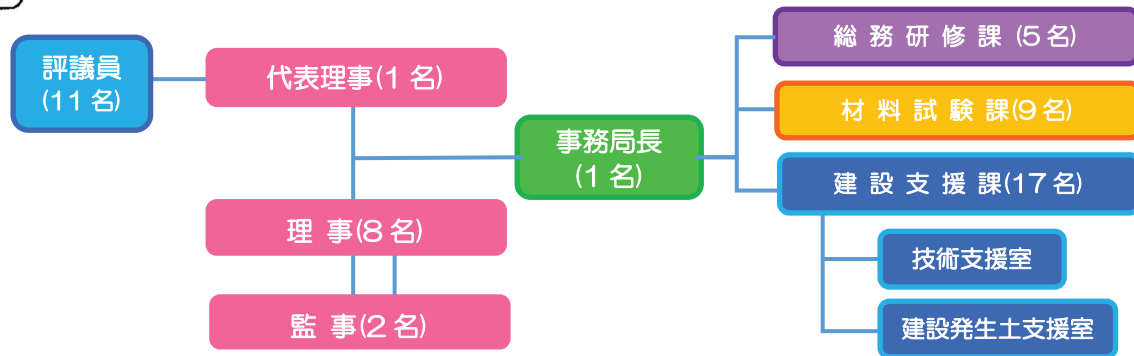
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人鳥取県建設技術センター

目 次

①	組織	1 頁
②	事務局職員	1 頁
③	令和 6 年度事業一覧表	1 頁
	令和 6 年度事業別収支予算一覧表	2 頁
④	社会資本整備事業	3～16 頁
	1-1 研修事業	
	1-1-1 自主研修	(3～7 頁)
	1-1-2 受託研修	(6 頁)
	1-1-3 災害復旧に関する研修	(6 頁)
	1-1-4 3次元測量設計等に関する研修	(6 頁)
	1-1-5 その他の研修	(6 頁)
	1-2 図書等頒布事業	8 頁
	1-3 試験検査事業	9～10 頁
	1-4 技術支援事業	11～13 頁
	1-5 建設発生土受入事業	14～16 頁
⑤	法人の運営・管理の運営	17 頁

1 組織



※業務スタッフ 8名、日々雇用職員 4名含む

2 事務局職員

(R6.3.1 現在)

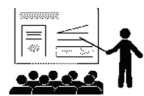
所属	主な業務	職名	氏名	備考
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> 研修事業（自主、受託研修） 全国建設技術センター等協議会事務局 とっとり建設☆女星 NW 事務局 図書頒布事業 建設工事下請取引調査 	事務局長(兼)総務研修課長	長谷善幸	
		参事	浦田純子	
		副主幹	藤井成之	
		主事(期限付)	井木照子	
		主事(期限付)	松田春美	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> 試験検査事業 再生砕石品質調査試験 	建設支援課長(兼)材料試験課長	福長宏之	(県派遣)
		参事	宮脇泰一郎	
		主幹	大西慶祐	
		副主幹	青滝一志	
		技師	竹中直輝	
建設支援課		建設支援課長(兼)材料試験課長	福長宏之	
建設発生土支援室	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土受入事業 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局 	室長	前田民子	
		主幹	井上純一	
		参与	前田健文	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> 技術支援事業 県、市町村等の積算、監督補助、検査業務 市町村インフラ維持管理支援 災害復旧支援 新技術への支援 橋梁マネジメント開発共同研究 建設 DX 推進プロジェクト 	室長	竺原努	
		主幹	井上和大	
		参与	反田敏博	
		参与	赤川定	
		副主幹	石井一彦	
		副主幹	石黒友規	
技師	岡野博樹			

3 令和6年度事業一覧表

社会資本整備事業【公益目的事業】

担当課: 総務研修課

研修事業



- 自主研修
- 受託研修
- その他の研修

図書等頒布事業



- 図書頒布
- けんせつ絵本の貸出

担当課: 材料試験課

試験検査事業



- 試験検査事業
- 再生砕石品質調査試験

担当課: 建設支援課ほか

技術支援事業

担当: 技術支援室



- 県等委託(13 業務)
- 市町村委託(4 業務)
- 建設 DX 等 (3 業務)

建設発生土受入事業

担当: 発生土支援室



- 建設発生土受入
- 岩美第二 (岩美町)
- 帽子取第 2 (琴浦町)
- 小町 (伯耆町)
- 小原 (日南町)

令和6年度 事業別収支予算一覧表

(単位：千円)

事業名	内 訳	収入①	支出②	差引①－②	
1-1 研修事業	(1) 研修事業収入	1-1-1 自主研修	21,501		
		1-1-2 受託研修	4,683		
		1-1-3 災害復旧に関する研修	2,156		
		1-1-4 3次元測量設計等に関する研修	8,737		
		1-1-5 その他の研修 ・とっとり建設産業の魅力発信講座 ・建設産業育成研修	0 5,500		
		計	42,577		
	小計	42,577	37,616	4,961	
1-2 図書頒布事業		118	143	△ 25	
1-3 試験検査事業	(1) 試験検査事業収入 (2) 受取地方公共団体補助金収入 (3) 減価償却引当資産取崩収入 (4) その他		54,750	61,360	
			1,925		
			5,204		
			20		
		小計	61,899	61,360	539
1-4 技術支援事業	(1) 受託収入 (県関係)	①建設工事下請取引等点検調査	4,341		
		②再生砕石品質実態調査に係る試験	857		
		③工事積算補助	38,741		
		④ひび割れ診断	2,108		
		⑤新技術・新工法活用システム事前審査	700		
		⑥道路台帳等修正	16,564		
		⑦工事検査補助	1,012		
		⑧電子成果品保管・管理	3,200		
		⑨賃金水準等詳細調査	3,713		
		⑩土木工事共通仕様書の改訂	1,700		
		⑪橋梁直営点検・診断	6,300		
	⑫公共残土利用促進	2,836			
	⑬工事材料の審査	4,988			
	計	87,060			
	(2) 受託収入 (市町村関係)	①工事積算補助	28,692		
②現場技術		4,309			
③橋梁補修工事の積算、現場管理補助及び技術的アドバイス		32,104			
④工事検査補助		1,734			
計	66,839				
(3) その他	①災害復旧支援	3,000			
	②コンクリートひび割れ相談	2,000			
	③建設DX推進プロジェクト	4,272			
計	9,272				
小計		163,171	130,610	32,561	
1-5 建設発生土受入事業	(1) 受入収入	①岩美第二 (計画19,000m³)	48,323		
		②帽子取第2 (計画40,000m³)	72,600		
		③小町 (計画130,000m³)	248,820		
		④小原 (計画40,000m³)	105,600		
	計	475,343	388,890		
	(2) 受取地方公共団体補助金収入 (3) その他		14,000 9		
小計		489,352	388,890	100,462	
	管理費	5,481	45,437	△ 39,956	
	当期収支差額	762,598	664,056	98,542	

4 社会資本整備事業

1-1 研修事業

研修検討委員会の意見、アンケート結果、業界のニーズを踏まえ、「建設業新卒者研修（4日間）」、「現場で学ぶ災害対応（2日間）」を新たに計画するとともに、継続する研修についても研修内容や講師を一部変更して実施します。

○令和6年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R6年度事業のポイント	
実践研修	若手技術者のための基礎研修の拡充	現場研修の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・新人技術者に必要なマナーや基礎的知識を集中して身につける新卒者向けの研修を、4日間連続して4月上旬に開催する。→「建設業新卒者研修（4日間）」 ・現場管理の基礎を座学と現場見学により学ぶ研修を開催する。→「はじめての現場管理」
		現場で役立つ力学研修	
		魅力的な職場作り	
情報系研修	ICT（デジタル化）関連の研修	i-construction の活用 CAD研修、デジタルDX研修	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取イノベーション実装フィールドで、県が i-Construction 等の実践的な研修を開催しているため、当センターでの研修は実施せず、鳥取県から研修運営業務を受託する。
維持系研修	インフラ維持管理に関する研修	補修（点検）の拡充 道路維持管理研修の拡充 各構造物の維持管理研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の橋梁を用いた「橋梁点検実習」や、インフラの点検・診断技術、「予防保全」への本格転換、ドローンや画像計測技術等を活用した定期点検の効率化・高度化等について学ぶ研修を継続する。 →「橋梁点検実習」、「港湾・海岸施設の維持管理」
災害系研修	激甚化する災害復旧研修	被災状況に応じた復旧工法研修 改良復旧研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年台風7号災害の事例をもとに、災害発生時の対応や復旧工法等を座学と現場見学により学ぶ研修を新設する。 →「現場で学ぶ災害対応（2日間）」
その他		建築関係の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法や関連法令を学ぶ研修や積算演習を実施する等、ニーズを反映させた研修を継続する。 →「建築基準法入門」、「建築工事の積算演習」
		経営者のための研修	<ul style="list-style-type: none"> ・地方建設業のあり方や人材育成に関する研修の実施。
第4期経営改善計画達成に向けた取組		<p><自主研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3～R5は計画以上の受講者数・収入となった。 <p>今後は、新人・若手技術者の建設産業への定着を図るため、建設産業の魅力を伝える研修や、モチベーションアップにつながる研修を継続するほか、現場実習等を多く盛り込むなど、より実践的な研修を増やしていきます。</p> <p><受託研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者（技師）の80%程度の研修参加を目指しているが、R3～R5はコロナや災害の影響もあり計画の半数程度の参加者数となっています。県土整備部へ継続して参加の働きかけを行い、計画の達成を目指します。 	

（単位：千円）

区分	R6年度予算A	R5年度予算B	増減額A-B
自主研修	21,501	20,058	1,443
技術職員等研修業務	4,683	4,683	0
災害復旧研修業務	2,156	0	2,156
鳥取イノベーション実装フィールドにおける技術講習会運営業務	8,737	0	8,737
とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0	0
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会	5,500	6,500	△1,000
計	42,577	31,241	11,336

1-1-1 自主研修

業務名	内 容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)												
① 自主研修 (継続)	<table border="1" data-bbox="355 338 1129 528"> <thead> <tr> <th>計画</th> <th>講座数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6年度</td> <td>38</td> <td>4,300人</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>44</td> <td>4,200人</td> </tr> <tr> <td>対前年</td> <td>△6</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 若手技術者のための基礎研修の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 「建設業新卒者研修(4日間)」は、入社直後にマナーやコミュニケーションに関する研修を集中的に実施してほしいとの要望があったことから、新社会人として必要となるビジネスマナーやコミュニケーション手法、公共工事のしくみや建設用語等、現場で必要となる基礎的知識を、入社直後に集中的に身につける新卒者に限定した研修を4月2日から4日間連続して開催します。 「はじめての現場管理」では、現場管理の基本を座学と現場見学により学び、現場管理ができる技術者の育成を目指します。 職場での良好な人間関係の構築や世代間ギャップを埋めるためのコミュニケーション手法、ハラスメント対策の研修を継続し、働きやすい職場づくりや定着率の向上につなげます。 <p>(2) ICT(デジタル化)関連の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取イノベーション実装フィールドでは、鳥取県がi-Constructionや3次元設計、BIM/CIM、ICT施工管理等の技術を実践的に学べる各種講習会を無料で開催していることから、当センターでのi-Construction等に関する研修は開催せず、鳥取県から研修運営業務を受託する。 <p>(3) インフラ維持管理研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路橋の老朽化が進む中、実際の橋梁を用いた「橋梁点検実習」のほか、「橋梁点検と補修計画」、「橋梁維持補修(鋼橋)」等を開催し、橋梁点検・橋梁保全の技術力向上を図ります。 「予防保全」への本格転換、ドローンや画像計測技術等を活用した定期点検の効率化・高度化についての研修を継続します。 <p>(4) 激甚化する災害復旧研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度も全国的に自然災害が頻発し、豪雨による浸水被害や土砂災害、地震災害が多く発生していることから、災害に対応した研修を継続します。 令和5年台風7号災害の事例をもとに、災害発生時の対応や災害復旧事業の概要、復旧工法等を座学と現場見学により学ぶ「現場で学ぶ災害対応(2日間)」を新設します。 <p>(5) その他の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築関係の研修は、建築基準法や関連法令を学ぶ基礎的な研修や、積算演習を対面で実施する等、ニーズを反映させた研修を継続します。 経営者研修では、今後の地方建設産業のあり方や人材育成のポイント等を取り上げ、生産性の向上や魅力ある会社づくりにつなげます。 Webセミナーによる研修開催は、受講場所の選択肢拡大、移動時間短縮など、研修受講の効率化に繋がるため今後も継続します。なお、新人研修や実技・演習を行う研修は、集合形式で開催します。 	計画	講座数	受講者数	R6年度	38	4,300人	R5年度	44	4,200人	対前年	△6	100人	21,501千円 (20,058千円)
計画	講座数	受講者数												
R6年度	38	4,300人												
R5年度	44	4,200人												
対前年	△6	100人												

令和6年度自主研修計画一覧表

区分	新規	対面	研修名	加点 研修	C P D研修			受講者数 (見込・人)	
					CPDS	コンサル 協会	建築士会		
実践 研修	○	○	建設業新卒者研修 (4日間)					30	
			測量基礎・丁張り(3日間)					20	
			新人技術者のための施工技術基礎	技術				40	
			はじめての現場管理	技術				40	
			河川の基礎	技術	○	○		130	
			やさしい構造力学	技術	○	○	○	100	
			土質の基礎 (2日間)	技術	○	○	○	100	
			安全管理の基本	技術	○	○	○	140	
			現場技術者のための	技術	○	○	○	140	
			事例から学ぶ現場の	技術	○	○	○	280	
			現場管理スキルアップ	技術	○	○		140	
			建設現場のマネジメント	技術	○	○		140	
			工事施工中の環境配慮	技術	○	○	○	140	
			仮設工	技術	○	○	○	130	
			受発注者のための品質確保	技術	○	○	○	140	
			○ 基礎から学ぶ土木工事積算		○	○		40	
			建設工事の入札制度	技術	○			130	
			コミュニケーション	人権	○	○		140	
人権に関する講習会	人権	○	○		280				
メンタルヘルス	人権	○	○		140				
維持系 研修			【隔年】港湾・海岸施設の維持管理	技術	○	○		70	
			○ 橋梁点検実習			○		20	
			道路構造物の維持管理	技術	○	○		140	
			橋梁点検と補修計画		○	○		90	
			橋梁維持補修(PC橋)	技術	○	○		80	
			橋梁維持補修(鋼橋)	技術	○	○		80	
災害系 研修			【新規】現場で学ぶ災害対応 (2日間)		○	○		30	
			激甚化する豪雨災害	技術	○	○	○	140	
			斜面災害の発生原因と対策	技術	○	○	○	140	
			事例から学ぶ災害対応 (地震編)	技術	○	○	○	140	
			軟弱地盤対策	技術	○	○	○	130	
その他			建築基準法入門	技術	○	○	○	90	
			○ 建築工事の積算演習	技術			○	30	
			建築工事の品質管理	技術	○	○	○	120	
			電気・機械設備の品質管理	技術	○	○	○	120	
			経営者に対 する研修	経営管理Ⅰ	経営	○	○		150
				経営管理Ⅱ	経営	○	○		150
計	2	8	38	32	32	32	17	4,300	

※受講料 半日：3,300円、1日：5,000円、2日：10,000円、3日：15,000円、経営者：4,100円
新卒者：24,000円

1-1-2 受託研修

業務名	内容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)
県土整備部 技術職員研修 (継続)	技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を継続して受託します。 (鳥取県県土整備部技術企画課で研修内容を検討中)	4,683千円 (4,683千円)

1-1-3 災害復旧に関する研修

業務名	内容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)
災害復旧研修 運営業務 (新規)	鳥取県が、県、市町村、鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会、鳥取県測量設計業協会等を対象に、災害復旧事業における改良復旧や災害査定に関する研修を計画しており、講師の手配や、研修当日の対応等、研修運営の一部を受託します。	2,156千円 (0千円)

1-1-4 3次元測量設計等に関する研修

業務名	内容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)
鳥取イノベーション実装フィールドにおける技術講習会運営業務 (継続)	鳥取県が鳥取大学浜坂キャンパスに鳥取イノベーション実装フィールドを整備し、i-Construction や 3次元測量設計等の技術を実践的に学ぶ各種研修を計画しており、講師の手配やCPD申請等、研修運営の一部を受託します。	8,737千円 (0千円)

1-1-5 その他の研修

業務名	内容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)
とっとり建設産業の魅力発信講座(継続)	将来の県内建設産業の担い手確保を目的として小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を継続して開催します。 ・出前講座を近隣の小中学校(河北小、西郷小、上北条小、河北中)で開催予定	0千円 (0千円)
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会 平成29年1月設立(継続)	鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会では、各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、建設産業の担い手の確保・育成のため事業を継続して推進していきます。 ① 研修等運営 ・魅力発信ガイダンス、UAV測量演習、CAD実習、土木積算、現場見学会、資格取得支援(1.2級土木・建築施工管理技士補、測量士補)、インフラの維持管理、地理総合(防災と地域調査)など(高校) ・リスクマネジメント講座(大学) ・1級、2級土木施工管理技士資格取得支援(既就労者) ・第7回とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト(小中学生) ・魅力発信ガイダンス(小中学生) ・建設業界で働く人の交流会 ・ICT促進(建設技術実証フィールド現場見学、体験実習等) ②情報発信 ・SNSを活用した情報発信:協議会並びに関係団体の取組等 ③協議会運営 ・協議会運営人件費等	5,500千円 (6,500千円)
計		5,500千円 (6,500千円)

研修事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・自主研修	21,501
		・受託研修	4,683
		・災害復旧に関する研修	2,156
		・3次元測量設計等に関する研修	8,737
		・その他研修	5,500
		計	42,577
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	13,499
	賃借料	・コピー機、パソコン、会場費、土地建物使用料	3,360
	諸謝金	・講師謝金（個人）	2,836
	委託料	・講師謝金（法人）、システム保守料	11,086
	その他	・光熱水費、CPD申請手数料ほか	6,835
			計
		差引	4,961

1-2 図書等頒布事業

土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売と管理を行います。
けんせつ絵本の貸出増加の取組を行い、多くの方に建設産業の役割や大切さを広めます。

○令和6年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R6年度事業のポイント
技術系図書の頒布	鳥取県と連携し、機会を捉えながら技術系図書の頒布を実施	・技術系図書の頒布を継続する。 ・新規・改訂図書はなし。
図書貸し出しの拡充	県内の未貸出の公共図書館への貸出の拡充	・南部町立法勝寺図書館（キナルなんぶ）、岩美町立図書館へ貸出を予定。
	蔵書の増加 R3：100冊⇒R7：210冊	・R5年度末時点で300冊保有しておりR6年度は購入予定なし。
	図書室(センター)の有効利用	・引続き、倉吉市立図書館内にけんせつ絵本コーナーを設置。 ・とっとり建設☆女星ネットワークと連携しけんせつ絵本のおはなし会を開催。
第4期経営改善計画達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸出は、蔵書を増やし2館同時貸出しを実現しており継続して実施します。 ・公立図書館32館のうち22館へ貸出、全館貸出に向けて働きかけを行う。 	

	内 容	収入予算 令和6年度 (令和5年度)																																			
図書頒布 (継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売と管理を行います。 ・道路工事関係技術便覧（第5版）、複写用プリペイドカードは令和5年度で販売を中止としている。 <p>R6年度図書等頒布一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図 書 名</th> <th>部数</th> <th>販売単価 (円)</th> <th>R6 収入 (千円)</th> <th>R5 収入 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木工事施工管理ハンドブック</td> <td>40</td> <td>2,600</td> <td>104</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>設計、測量、地質・土質調査共通仕様書</td> <td>3</td> <td>2,851</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>道路工事関係技術便覧（第5版）</td> <td>0</td> <td>1,476</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>河川・海岸便覧ほか3種</td> <td>6</td> <td>1,069</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>複写用プリペイドカード</td> <td>0</td> <td>3,000</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>118</td> <td>266</td> </tr> </tbody> </table>	図 書 名	部数	販売単価 (円)	R6 収入 (千円)	R5 収入 (千円)	土木工事施工管理ハンドブック	40	2,600	104	208	設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	3	2,851	8	14	道路工事関係技術便覧（第5版）	0	1,476	0	15	河川・海岸便覧ほか3種	6	1,069	6	14	複写用プリペイドカード	0	3,000	0	15	計			118	266	118千円 (266千円)
図 書 名	部数	販売単価 (円)	R6 収入 (千円)	R5 収入 (千円)																																	
土木工事施工管理ハンドブック	40	2,600	104	208																																	
設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	3	2,851	8	14																																	
道路工事関係技術便覧（第5版）	0	1,476	0	15																																	
河川・海岸便覧ほか3種	6	1,069	6	14																																	
複写用プリペイドカード	0	3,000	0	15																																	
計			118	266																																	
けんせつ絵本の貸出 (継続)	<p>(1) 計画的な貸出巡回の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度は、南部町立法勝寺図書館（キナルなんぶ）、岩美町立図書館へ貸出を予定している。 <p>(2) 蔵書を倍増化（R3:100冊⇒R4:200冊⇒R5:300冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度末で蔵書は300冊であり、R6年度は購入しない予定である。 <p>(3) けんせつ絵本コーナーの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に住民の方が利用しやすい環境を目指して、倉吉市立図書館内に、けんせつ絵本コーナーを新設した。R6年度も引続き入替を行い100冊の設置を予定している。 <p>(4) とっとり建設☆女星ネットワークとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんせつ絵本のおはなし会を2図書館（倉吉市、湯梨浜町）で開催を予定している。 	絵本代 0 (200)																																			

【けんせつ絵本の貸出計画】

図書館	貸出期間	貸出数
南部町立法勝寺図書館（キナルなんぶ）	R6.4月～R7.3月	200
岩美町立図書館	同上	200
計		400

図書頒布事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科 目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・土木工事施工管理ハンドブックほか	118
	計		118
支出	人件費	・給料手当、福利厚生	96
	その他	・電気代、建物・土地使用料ほか	47
	計		143
	差引		△ 25

1-3 試験検査事業

○令和6年度事業のポイント

県内唯一の公的試験機関として、公共工事の品質確保のため、鳥取県土木工事共通仕様書に基づき、建設材料の品質管理試験を実施する。

第4期経営改善計画		R6年度事業のポイント
技術(試験)の継承	試験件数の維持、確保	<ul style="list-style-type: none"> ・件数、収入はR5年度実績相当とした。 ・試験精度を維持し、試験件数を確保する。
	6試験分類74試験項目の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・試験担当者の複数化を進めるなど試験実施体制の確立・強化を進める。
	新規試験の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・土質配合試験の導入に向けた準備を進める。
JISQ17025(JNLA)の内部監査、更新の実施	試験精度の維持、確保	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査体制を強化するため4名体制とする。 ・外部精度管理を実施する。
人材育成と確保	計画的な研修とOJT	<ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練計画を策定し、計画的に教育訓練を実施する。
調査研究・分析	土質関係(地盤改良)	<ul style="list-style-type: none"> ・土質配合試験の導入に向けた準備を進める。(再掲)
	コンクリート関係(軽量コンクリート)	<ul style="list-style-type: none"> ・構造物の維持管理に有用なデータを蓄積していくため、鳥取大学が行っている塩化物イオン浸透に関する研究に共同研究として参加します。
	骨材関係(粒度試験分析)	
第4期経営改善計画達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図るため、業務の分業化、多能工化を進めていきます。 ・内部監査体制強化等により試験精度を維持するとともに、試験のPRを積極的に進め試験件数を確保します。 	

【業務概要】

1 技術(試験)の継承

- ・公共工事の発注量は横ばい傾向であるが、改築系から維持系へのシフトが進み、試験件数・収入とも減少していることから、令和6年度の試験件数・収入とも令和5年度の実績相当を見込んでいます。
- ・物価高騰による試験経費上昇に対応するため、R6年7月を目途に試験手数料の改定を行いたいと考えています。(令和6年度当初予算へは、手数料改定は反映させていない。)
- ・試験実施体制強化のため、R5年度は骨材及び土質試験責任者の増員を目標としていたが、職員の退職等により目標達成には至りませんでした。R6年度は土質責任者増員のためOJTを進めます。
- ・技術の継承を図るため、教育訓練計画を策定し計画的に教育訓練を実施するとともに、OJTを通じて試験担当者の複数化を進めるなど試験実施体制の確立・強化を進めます。
- ・顧客からの信頼を継続するため、試験精度を維持し試験件数の確保に繋がります。
- ・試験業務の効率化を図るため、業務の分業化、多能工化を進めます。

2 JIS Q 17025 (JNLA) の内部監査、更新の実施

- ・ISO 17025 (JIS Q 17025) に適合する試験機関 (JNLA 登録事業所) として、内部監査体制を強化するため、ISO 17025 対象範囲外の建設支援課から外部講習会の受講により内部監査員を1名増員し、4名体制とします。
- ・試験精度を維持し、信頼ある試験結果を提供するため、コンクリート、骨材試験の外部精度管理 (他試験機関と同一試料で同じ試験を実施して結果を比較) を実施します。

3 人材育成と確保

- ・技術の継承を図るため、教育訓練計画を策定し計画的に教育訓練を実施するとともに、OJTを通じて試験担当者の複数化を進めるなど試験実施体制の確立・強化を進めます。(再掲)
- ・コンクリート試験に関する外部講習の受講等、新たな技術を高めるため積極的に研修に参加します。

4 調査研究・分析

- ・土質関係：軟弱地盤が多い鳥取県では、道路工事等で強度確保のため地盤改良をして利用することが多く、改良材の添加量を調べる配合試験の需要が見込まれることから、土質配合試験の導入に向け、配合実施例を増やして、供試体作成方法確定等の課題を解決し、導入準備を進めます。
- ・コンクリート：土木インフラの長寿命化のため適切な維持管理の重要性が高まり、材料試験業務においても既設構造物の維持管理に関する試験の需要が増えています。そこで、今後の構造物の維持管理に有用となるデータを蓄積していくため、維持管理をテーマとした研究を進めます。今年度は劣化度の大きな塩害に着目し、鳥取大学が行っている塩化物イオン浸透に関する研究に共同研究として参加します。

【試験項目別収入】

試験分類	令和6年度予算 A		令和5年度予算 B		増減額 A-B	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
土質	1,800	21,710	2,060	23,760	△260	△2,050
骨材	970	5,760	900	5,180	70	580
コンクリート	20,550	25,950	27,230	33,990	△6,680	△8,040
アスファルト	390	830	410	840	△20	△10
鋼材	0	0	450	600	△450	△600
水	50	500	40	460	10	40
計	23,760	54,750	31,090	64,830	△7,330	△10,080

試験検査事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内訳	金額
収入	事業収入	・試験検査収入	54,750
	雑収入		20
	受取地方公共団体補助金収入		1,925
	減価償却引当資産取崩収入		5,204
	計		61,899
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	43,119
	賃借料	・土地建物使用料	2,566
	光熱水費	・光熱水費	5,175
	什器備品購入支出	・電子天秤(3台)、試料採取機、恒温水循環供給装置	7,129
	その他	・消耗品費ほか	3,371
	計		61,360
	差引		539

1-4 技術支援事業

老朽化が進むインフラの効率的・効率的な維持管理と建設産業の担い手確保が課題となっている中で、発注者支援（積算、現場管理、検査、点検から補修の維持管理業務等）の要請が増えています。

県・市町村のニーズに確実に応えるため、より一層の支援強化・充実に取り組みます。

○令和6年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R6年度事業のポイント
インフラ整備・維持管理の支援	工事積算補助業務	<ul style="list-style-type: none"> トンネル、下水道推進等、特殊工事の積算に取り組み、積算技術と品質の向上を図る。 県受託は増額（環境建築局より吊り橋積算業務を継続受注）。 市町村受託は増額（倉吉市下水の増）。
	現場技術業務・工事検査（補助）業務	・前年度と同様。
	橋梁アドバイス業務 （インフラ情報マネジメントシステム含む）	<ul style="list-style-type: none"> 「インフラ情報マネジメントシステム」を活用した支援の強化を図る。 橋梁積算、現場技術（アドバイス業務）は増額。
	コンクリートひび割れ診断指導業務	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同様。 診断士資格取得による体制強化。
	災害復旧支援業務	<ul style="list-style-type: none"> 市町村との災害支援協定の締結を検討する。 災害復旧分野におけるデジタル技術を活用した効率化について検討を進める。
インフラ関係データ、システムの運用・管理	道路台帳等修正業務	・前年度と同様。
	電子成果品保管・管理業務	・前年度と同様。
	橋梁アドバイス業務 （インフラ情報マネジメントシステム）	・共同研究成果である「インフラ情報マネジメントシステム」を活用した業務を継続実施。
	建設DX （ドローン、3Dデータ、遠隔立会）	<ul style="list-style-type: none"> 建設産業の生産性向上を図るため、建設ICT活用による技術支援として、UAV空中写真測量から3次元設計データの作成等、施工管理の効率化を促進する取組を進める。 新たな取り組みとして、3次元モデルを活用した橋梁の健全度評価の検討を進める。
高い技術力への支援強化と人材育成	センター職員の技術力向上	・計画的な研修受講、資格取得
	賃金水準等詳細調査業務	・前年度と同様
	建設産業の魅力発信講座	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携 実体験を重視したプログラム
第4期経営改善計画達成に向けた取組	<p>県受託事業は計画どおりの進捗、市町村受託は既に目標を達成している。 特に市町村支援業務は拡大しており、業務量に応じた支援体制の整備やITやデータ活用による更なる業務の効率化の取組を進めていく。</p>	

〔事業費総括表〕

（単位：千円）

区分	R6年度予算 A	R5年度予算 B	増減額 A-B
受託（県）	87,060	73,013	14,047
受託（市町村）	66,839	75,245	△8,406
その他	9,272	9,102	170
計	163,171	157,360	5,811

(1) 受託（県関係）

業務名	内容	収入予算 R6年度 (R5年度)	担当課
①建設工事下請取引等点検調査（継続）	県発注の建設工事に係る下請取引等について適正化を図るため、その取引状況（下請代金の見積・契約方法等）が建設業法の規定に違反がないか点検調査を行います。 (R6) 約 200 件 (R5) 約 200 件	4,341 千円 (4,341 千円)	総務研修課
②再生砕石品質実態調査に係る試験（継続）	再生砕石は、既設の構造物（コンクリート、アスファルト等）を破碎したものを原材料としており、原材料の均一性を確保することが困難なことから、新材と比べ品質規格を満足しないことが生じやすいため、センターにおいて、ふるい分け試験等を行い、品質を調査します。	857 千円 (854 千円)	材料試験課
③工事積算補助	【通常分】業務委託成果品をもとに、発注者用図面作成、設計数量のチェック及び算出、工事価格の積算等を行います。 (R6) 道路、河川、砂防・治山、特殊橋梁（吊り橋） (R5) 道路、河川、砂防・治山、下水道管更生	30,075 千円 (29,117 千円)	
	【債務負担行為】令和5年台風7号災害の災害復旧工事に係る実施設計積算を行います。	8,666 千円 (0 千円)	
④ひび割れ診断（継続）	センターのコンクリート診断士がコンクリート構造物に発生したひび割れの診断を行い、ひび割れ抑制の指導を行います。 (R6) 10 箇所 (R5) 10 箇所	2,108 千円 (1,940 千円)	
⑤新技術・新工法活用システム事前審査（継続）	県内の建設業者等で開発された新技術等の利活用の促進と製品の販路拡大を目的に、その工法及び製品が公共工事に活用出来るかどうかを事前に審査を行います。 (R6) 5 件 (R5) 5 件	700 千円 (700 千円)	
⑥道路台帳等修正（継続）	道路工事後の道路形状変更、供用開始の告示資料、道路台帳付図の修正、道路情報便覧更新作業、道路現況調査票や交付税基礎数値算定資料などの作成を行います。	16,564 千円 (13,678 千円)	
⑦工事検査補助（継続）	当初請負対象設計金額が 15,000 千円未満の工事について、工事完成資料の事前確認を行います。 (R6) 30 箇所 (R5) 30 箇所	1,012 千円 (1,012 千円)	建設支援課
⑧電子成果品保管・管理（継続）	県工事及び測量設計業務に係る電子納品成果品（CD 等）をオンライン電子納品システムに登録します。 (R6) 300 枚 (R5) 600 枚	3,200 千円 (5,896 千円)	
⑨賃金水準等詳細調査（継続）	県発注工事において、専門業者（とび、型枠、鉄筋等 5 業種）への下請契約が、適正な賃金水準で契約されているかどうか調査するもので、下請契約の見積金額と設計金額とを対比させた資料を作成します。 (R6) 600 工種程度 (R5) 600 工種程度	3,713 千円 (3,713 千円)	
⑩土木工事共通仕様書の改訂（継続）	県の土木工事施工管理ハンドブック、業務共通仕様書の改訂作業の支援と電子書籍化を行います。	1,700 千円 (973 千円)	
⑪橋梁直営点検・診断（継続）	橋梁直営点検の点検実地指導、診断指導、健全度判定会の運営・とりまとめを行います。 (R6) 点検 50 橋 (R5) 点検 50 橋	6,300 千円 (6,300 千円)	
⑫公共残土利用促進（継続）	県主催の建設発生土対策連絡協議会の開催補助を行います。	2,836 千円 (4,489 千円)	
⑬工事材料の審査業務（新規）	県発注工事で使用する工事材料の事前審査をセンターで実施する。 (R6) 約 2,800 件	4,988 千円 (0 千円)	
計		87,060 千円 (73,013 千円)	

(2) 受託（市町村関係）

業務名	内容	収入予算 R6年度 (R5年度)	担当課
①工事積算補助 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の積算を行います。 トンネル、下水道推進・管更生など特殊工事の積算に組み、積算技術と品質の向上を図ります。 (R6) 倉吉市、境港市、北栄町 (R5) 境港市、北栄町	28,692千円 (22,190千円)	建設支援課
②現場技術 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の現場技術業務を行います。 (R6) 北栄町 (R5) 境港市、北栄町	4,309千円 (6,313千円)	
③橋梁補修工事の積算、現場技術及び技術的アドバイス (継続)	市町村が発注する工事のうち、特に専門的な技術を必要とする橋梁補修工事に対するアドバイスを行います。 東北大学との共同研究成果である「インフラ情報マネジメントシステム」を活用し、市町村の橋梁メンテナンスサイクルに係る支援強化を図るとともに、点検診断から補修工事に関する一連データの管理活用を進めます。 (R6) 2市10町 (R5) 2市9町	32,104千円 (45,008千円)	
④工事検査補助 (継続)	市町村発注工事の工事完成検査について、請負業者が作成した工事完成資料及び現地の確認を行います。 (R6) 倉吉市、境港市 (R5) 倉吉市、境港市	1,734千円 (1,734千円)	
計		66,839千円 (75,245千円)	

(3) その他

業務名	内容	収入予算 R6年度 (R5年度)	担当課
①災害復旧支援 (継続)	被災状況等の調査、復旧工法等の技術的助言及び査定設計書等の作成を行います。 災害発生時の迅速な災害支援を目的として市町村との災害支援協定の締結を検討します。 災害復旧分野におけるデジタル技術を活用した効率化について検討を進めます。 (R6) 5件 (R5) 5件	3,000千円 (3,000千円)	建設支援課
②コンクリートひび割れ相談 (継続)	コンクリート構造物のひび割れをコンクリート診断士が調査し、原因、補修の要否及び補修方法を記載した「ひび割れ診断報告書」の作成に加えひび割れ抑制・防止対策等について指導・助言します。 (R6) 20件 (R5) 20件	2,000千円 (2,000千円)	
③建設DX推進プロジェクト (継続)	施工管理の効率化を図るため、UAV 空中写真測量から3次元設計データの作成を行います。 土木インフラの維持管理計画や判断支援ツールの開発を目指した取組として、地上型レーザースキャナを購入し、高精度3次元モデルによる橋梁の健全度評価の検討を進めます。 (R6) 残土処分場点検、構造物のモデリング (R5) 残土処分場点検	4,272千円 (4,102千円)	
計		9,272千円 (9,102千円)	

技術支援事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金額
収入	事業収入	・受託（県）	87,060
		・受託（市町村）	66,839
		・その他（ひび割れ、ドローン、橋梁）	9,272
	計		163,171
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	84,842
	賃借料	・橋梁マネジメント、土木積算システム使用料	14,770
	光熱水費	・電気代ほか	1,350
	什器備品購入支出	・3次元レーザースキャナ、ドローン（1台）	9,000
	その他	・消耗品費、租税公課ほか	20,648
	計		130,610
	差引		32,561

1-5 建設発生土受入事業

H3年から現在までに47箇所の事業所を開設し、R4年度末で11,128千m³の建設発生土の受入れをしました。(鳥取県建設資源利用センターから建設発生土事業を引継いだH14以降に開所した事業所は18箇所)R6は、岩美第二、帽子取第2、小町、小原の4事業所で継続して建設発生土の受入れを行います。

○令和6年度事業のポイント

(単位：千m³)

第4期経営改善計画			計画 受入 土量	R4まで 受入 土量	R5 受入 土量 (見込)	R6年 受入 土量 (予定)	受入 可能 土量	R6年度事業のポイント
開設中の 事業所	安定的な稼働	岩美第二事業所	250	164	10	19	57	・閉所に向けた後始末工事を実施する。
		帽子取第2事業所	455	224	42	40	149	・2週開所、2週閉所形態を継続。
		小町事業所	900	103	119	130	548	・NEXCOは、2工事区から13万m ³ 受入れ予定。
		小原事業所	210	60	50	40	60	・受入完了に向け必要ならば単価改定を行う。
民間処分場と競合しない地域の開所	・収支均衡のとれた各事業所の運営 ・地域活性化に向けた跡地利用の実現	中部県土局管内	—	—	—	—	—	・当面保留。
		日野県土局管内	—	—	—	—	—	・進展なし。
大規模事業に必要な処分場	・県との連携強化 ・支出負担の軽減(協定の見直し)	東部候補地	—	—	—	—	—	・検討を中止。
計			1,815	551	221	229	814	
第4期経営改善計画達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・受入土量を定期的にチェックし、発注者や大口の搬入工事に対し確実な土量の搬入について働きかける。 ・持続的な建設発生土受入事業の確立を目指し、県に対し、土量の確保、安定的な運営ができる仕組みづくりについて引続き要請する。 							



【事業概要】

(1) 開設中の事業所

①岩美第二事業所

- ・R6年度は、19,100 m³の受入を行い、R7.3.31までに仕上工事を行い、岩美町へ事業用地を譲渡します。

②帽子取第2事業所

- ・R6年度の受入土量は、R5年度と同規模の40,000 m³を予定しています。
- ・造成工事の効率化を図るため、2週おきの開所・閉所をR6年度も継続します。
- ・R5年度に続いて、持続的な事業運営が行えるよう、県と協定を締結し造成工事費用の一部を県で負担いただきます。(予算額14,000千円/年 R5～R7の3か年)

③小町事業所

- ・R6年度はNEXCO等からの受入土量130,000 m³を見込み、造成、沈砂池及び暗渠排水管の施工を予定しています。
- ・埋蔵文化財調査は、R6～R7年度において調査報告書の作成を行い終了する予定です。

④小原事業所

- ・当事業所は鍵掛峠トンネル工事専用処分場として、R6年度は年間40,000 m³の受入れを予定しています。
- ・国交省との協定で定める受入土量200,000 m³をR7年度までに確保するため、国交省との協議を継続して行います。

(2) 民間処分場と競合しない地域の事業所

①中部県土局管内新規箇所

- ・当面保留する。

②日野県土局管内新規箇所

- ・進展なし。

受入収入一覧表

岩美第二：2,530円/m³、小町：1,914円/m³、小原：2,640円/m³、帽子取第2：1,815円/m³

地区	事業所名	R6年度予算 A		R5年度予算 B		増減額 A-B (千円)
		土量(m ³)	収入(千円)	土量(m ³)	収入(千円)	
東部	岩美第二 (岩美郡岩美町)	19,100	48,323	0	0	48,323
中部	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	40,000	72,600	27,000	49,005	23,595
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	130,000	248,820	140,000	267,960	△19,140
	小原 (日野郡日南町)	40,000	105,600	49,000	129,360	△23,760
計		229,100	475,343	216,000	446,325	29,018

R6年度 工事・委託等予算一覧表

(単位：千円)

地区	事業所名	支出予算額	備考
東部	岩美第二 (岩美郡岩美町)	48,000	場内造成工事、仕上工事 (R5 債務負担)
中部	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	51,000	場内造成工事 (R6 現年予算)
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	19,000	場内造成工事(4~6月分) (R5 債務負担)
		130,000	場内造成工事、沈砂池及び暗渠配水管設置工事 (R6 現年予算)
		11,990	埋蔵文化財調査報告書作成
		3,000	水路変更詳細設計
	小原 (日野郡日南町)	14,359	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事 R5 繰越工事 R5:25,641千円、R6:14,359千円
		56,756	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事 (R6 現年予算)
災害対応		2,000	
計		336,105	

事業所別受入土量見込

(単位：千m³)

地区	事業所名	受入期間	全体土量	R5受入土量	R5末受入累計	R6受入土量	R6末受入累計	R6末受入可能土量	進捗率(%)
東部	岩美第二	H28.12~R6年度	250	10	174	19	193	57	77%
中部	帽子取第2	R2.2~R10年度	455	42	266	40	306	149	67%
西部	小町	R3.10~R13年度	900	119	222	130	352	548	39%
	小原	R2.7~R7年度	210	50	110	40	150	60	71%
計			1,815	221	772	229	1,001	814	

建設発生土受入事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・岩美第二	48,323
		・帽子取第2	72,600
		・小町	248,820
		・小原	105,600
	受取地方公共団体補助金収入		14,000
その他	受取利息収入ほか		9
計			489,352
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	31,933
	工事請負費	・岩美第二、帽子取2、小町、小原	321,115
	委託料	・小町埋蔵文化財調査等ほか	17,490
	その他	・事業所土地使用料ほか	18,352
	計		
差引			100,462

5 法人の運営・管理の運営

(1) 理事会及び評議員会の開催について

①理事会

開催時期	内 容
R6年5月	R5年度事業報告及び決算について 評議員会の開催について
R6年5月	代表理事の選定について
R6年10月	R6年度職務執行状況について
R7年3月	R7年度事業計画書等について 評議員会の開催について

②評議員会

開催時期	内 容
R6年5月	R5年度事業報告及び決算について 評議員、理事、監事の選任について
R7年3月	R7年度事業計画書等について

(2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R6年5月	R5年度決算監査
R6年11月	R6年度定例監査

(3) 「けんせつフェスタ 2024」の開催

主にファミリー層を中心に、当センター並びに建設産業に親しみを持っていただけるよう、子どもたちが楽しめる体験型のイベントを行います。

開催時期は、夏休み期間中を予定しています。

(4) 「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024」への協賛

センターのPR及び情報発信の一環として、令和6年10月に開催される「第35回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）」に協賛します。